

# マザーレイクフォーラム 「つながりに気づき、つながりを築く」

びわ湖に関わる多様な主体が交流する  
Webサイトを運営しています

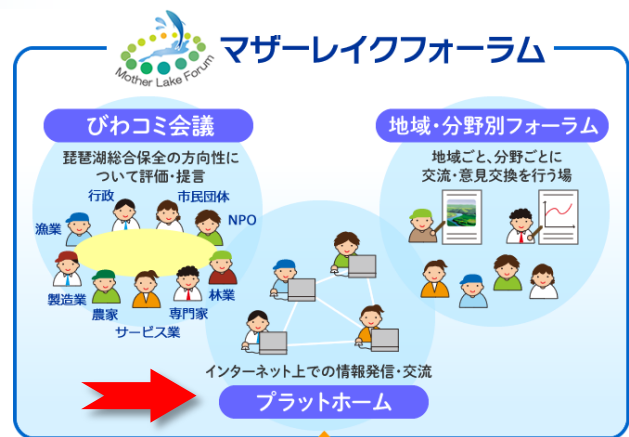


マザーレイクフォーラム運営委員会

「近江さんすい」読者のみなさん、マザーレイクフォーラム運営委員会です。今回は、マザーレイクフォーラムが運営している「Webサイト」や「活動団体登録システム」などについてご紹介します。

## 情報発信と交流のプラットフォーム：Webサイトとfacebook ページ

琵琶湖に関心をもって行動しておられるさまざまな団体や個人が「マザーレイクフォーラム」に関わるには、①毎年1回開催されている「びわコミ会議」に参加する、②各地域ごと・分野ごとに集まって交流している「地域フォーラム」やその催しに参加する、③インターネット上に用意されているプラットフォームを活用する、の3種類の方法があります（右図）。



今回ご紹介するのは、③のインターネットを活用する方法についてです。検索サイトで「マザーレイクフォーラム」を検索していただくと、左下の画像のようなWebサイトにアクセスできます。マザーレイクフォーラムに関する解説や紹介動画のほか、琵琶湖関連イベント情報満載の「活動カレンダー」、誰もがWeb上での投稿やディスカッションを行える「みんなの情報交換ページ」、「マザーレイクフォーラム連携事業」の案内や報告、「登録団体・個人リスト」（後述）の閲覧などを利用いただけます。

また、マザーレイクフォーラムの「facebook ページ」もあり、約 220 名（H27 年 11 月時点）が「いいね！」してくださっています。どなたでも書き込めますので、情報発信・交流・仲間探し・アイデア探しなどの場としてどんどんご活用ください。



みんなの情報共有サイト <http://mlf.shiga.jp/>

マザーレイクフォーラム facebook ページ  
<https://www.facebook.com/motherlakeforum/>



## 活動登録団体・個人を募集中！

マザーレイクフォーラムでは、琵琶湖やその流域の保全に関する何らかの活動をしておられる団体や個人が、Web サイト上から（FAX・郵送も可）いつでも無料で団体基礎情報や活動情報を「登録」できるようにして、約 80 の団体・個人がすでに登録してくださっています（H27 年 7 月時点）。

マザーレイクフォーラムに「登録」していただいた団体・個人の情報は、「琵琶湖の保全活動に関する情報を発信・交換する場」として広く活用・共有させていただくため、公開可能な範囲でリストに整理して Web 上に公開しています。

このリストは、これから何か活動に参加したいと考えている人が自分の思いや活動可能エリアにマッチする団体を見つけて問合せたり、協働相手を探している NPO や行政、社会貢献したいと考えている企業などがパートナー探しに利用する、といった形で活用されています。また、登録いただいた各団体・個人の多様な属性の分布状況を図式化した「マザーレイク曼荼羅」も随時作成・公開しています。

琵琶湖流域の河川や砂防に関わっておられるみなさんも、ぜひ登録してください♪  
（エントリーシート→ <http://mlf.shiga.jp/link/groupresist>）



## 活動登録団体のご紹介 ～『びわこ豊穡の郷』

南湖の赤野井湾とその集水域で暮らす市民有志により、1996 年に前身の豊穡の郷赤野湾流域協議会が発足。以来、河川の水質保全や生態系保全の活動を地道に積み重ねて来られました。また、地域の様々な団体に呼びかけて「川づくりフォーラム」を毎年開催したり、守山市内で川づくりに取り組む自治会をネットワークするなど、「地域フォーラム」としての役割も果たしてくださっています。

今年 3 月には、赤野井湾で急増する特定外来生物「オオバナミズキンバイ」の除去活動や「ほたるパーク&ウォーク」などの活動が評価され、「しが CSR 経営大賞 特別賞」を受賞されました（写真は受賞報告時の様子、守山市長とともに）。



マザーレイクフォーラム運営委員会委員より一言

「水源の山里から、あらためて琵琶湖のすがたを見つめなおそう！」

琵琶湖に満々とたたえられる水 1 滴 1 滴の源は、県面積の半数を占める山林に降り注いだ雨や雪。その山林は今、日本の経済システムから切り捨てられ、かつてそこをなりわいとしていた山里では過疎が止まらない。林業や森林バイオマス産業を持続可能なローカルビジネスとして復興し、山里に志あふれる若者が帰ってきた時、琵琶湖環境と日本の人口減少社会の明るい行く末が見えてくるに違いない！と信じて豪雪で知られる奥伊吹の古民家に移住。2 度目の冬を迎える。（「暮らシフト研究所」主宰 藤田知文）

